

紫竹学林会通信

2013年12月10日 No.21

2013年度の第29回「紫竹学林会」の会合を2014年1月25日（土）15:30から、大学院棟のある深沢キャンパスにて以下の要領で開催いたします。今回は、第12期OBの柳田 誠氏（阪神コンサルタンツ）に「地理学の活断層研究から応用科学としての活断層研究へ」と題してご講演をお願いいたしました。

また同日、地理学教室主催の「修士論文発表会」が「紫竹学林会」の前に開催されます。講演会、修士論文発表会ともに、学部生を含めてどなたでも参加できますので、是非お越しく下さい。

（幹事）

日時：2014年1月25日（土）

会場：駒澤大学 深沢キャンパス・アカデミーホール2階2-1 会議室

修士論文発表会（地理学教室主催）

【修士論文発表会】 13:00～15:10（発表15分+質疑5分）

東海林 優：「新潟県村上市岩船地区の祭礼における地域社会の関係」	13:00～
柳光 里香：「神社祭祀と地域社会—三重県松阪市飯南町・飯高町を事例に一」	13:20～
高橋 昂輝：「トロントにおけるポルトガル系社会空間の変容」	13:40～
谷地田遼介：「新潟県信濃川下流域における果樹栽培の地域性」	14:10～
武田 亘典：「札幌市におけるヒートアイランドとその形成要因」	14:30～
柳場さつき：「タイ北部ファーン盆地周辺地域における降水特性」	14:50～

紫竹学林会（講演会・総会・懇親会）

【講演会】 15:30～17:00（講演会と総会の会場は修士論文発表会と同じ）

講師：柳田 誠先生：「地理学の活断層研究から応用科学としての活断層研究へ」

柳田 誠氏（阪神コンサルタンツ）は、長年、活断層の調査・研究の仕事をされています。また、駒澤大学地理学科非常勤講師として「地球物理学」と大学院の「自然地理学特講」の講義も担当されています。今回は、日本における活断層研究の目標が変化してきた過程についてお話くださることです。

【総会】 17:00～17:20（紫竹学林会OB会員・院生）：2013年度会計報告，その他

【懇親会】 17:30～19:30（どなたでも参加できます）

会場：駒澤大学深沢キャンパス 洋館小ホール

会費：5000円（学部生・院生：2500円）

当日の案内は学科HPにも掲載しますが、紫竹学林会会員だけでなく学部生や卒業生などにも講演会への参加（懇親会を含む）をお知らせ頂ければ幸いです（懇親会への参加は事前に連絡をお願いします）。